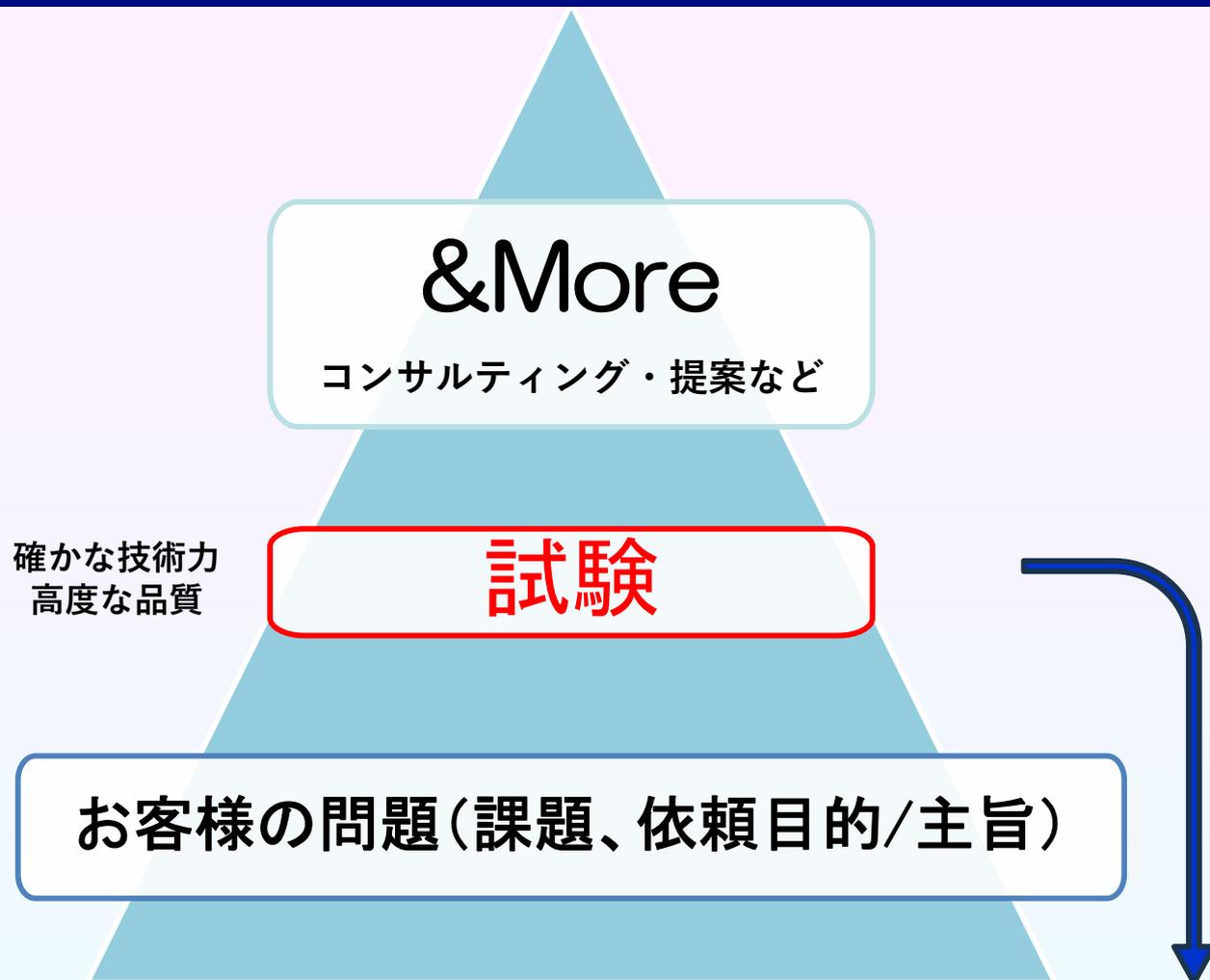


エネルギー・カーボンニュートラル (吸油量測定)



設計・開発、品質確認などのパラメータとして吸油量を測定しませんか

「練合せ法測定」と「アブソープトメータ測定」対応しています。

カーボンブラック、シリカ、アルミナ、顔料など

吸油量測定装置「アブソプトメータ」を 導入しました

東レテクノでは粉体の吸油量測定法である練り合わせ法*に加え、「アブソプトメータ」での測定**が可能となりました。
カーボンブラック、シリカ、アルミナ、顔料など幅広い試料に対応できます。

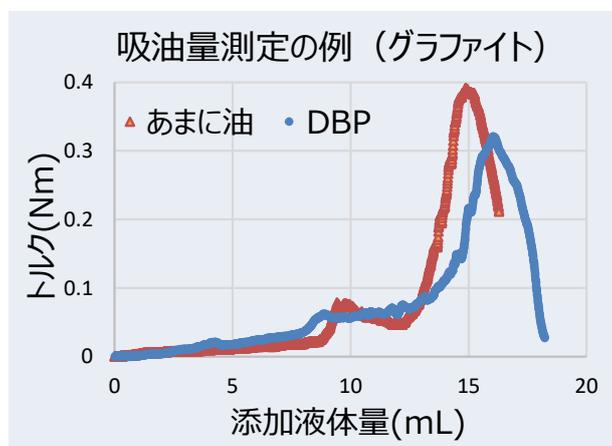
* JIS K 5101-13(2004)

** JIS K 6217-4(2017)、ASTM D 2414、ASTM D 3493、ASTM D6854

アブソプトメータによる吸油量測定の概要

回転翼によりかき混ぜられている粉体に液体を添加し、トルクの変化と添加液体量を測定します。

様々な粉体と液体(DBP、あまに油等)の組み合わせで測定できます。
練り合わせ法と比べ、安定した測定値が得られます。



吸油量測定の活用事例

アルミナ・セラミックス	焼結性・粒子凝集の評価、粉末成形性の改善
顔料・塗料	顔料の分散性・混練性の評価、粘度制御、色材の安定性向上
電池材料	スラリー粘度・導電性材料の評価、電極形成の支援
カーボンブラック	カーボン構造・ストラクチャー評価、凝集体解析、導電性の最適化
化粧品	粉体の皮脂吸着性・分散性、肌触りの改善
医薬品	粉体の流動性・混合性、製剤設計支援

燃料電池の開発に！

～ 粉体の特性把握・選定・設計などに ～

粉体の特性の一つに、油分に対する濡れ（親和性）があり、粉体の種類（材質・形状・粒度・表面状態など）によって異なります。

「吸油量測定」により粉体の「吸油特性」を知ることができます。

導電材・粒子分散液などの設計・開発、品質確認のパラメータとして

「吸油量測定」を実施しております！お気軽にお問合せください

測定フロー

試料(ガラス板上)

←あまに油 4～5滴ずつ

練り込み

塊状

←あまに油 1滴ずつ

混練

終点(ペースト状)



カーボンブラック



カオリン

【終点の写真】

測定結果

単位：mL/100g

試料	精製あまに油 ^{※1}
カーボンブラック	76
カオリン	51

※1:ISO150に規定する精製あまに油が入手出来ないため、試薬1級アマニ油を使用

分析のご提案

粉体

粉末A

粉末B



液体例[※]

グリセリン

プロピレング
リコール

分析結果は比表面積
の他、粉体の粒度、形状、
表面の分子状態等
総合的な影響を受ける。

粉体×液体の組み
合わせから、適切な
スラリーを見出すこと
ができます。

Point!!

不活性雰囲気での測定
も可能です

※ 低沸点溶剤は対応不可の場合もあります。

プレス状化粧品の開発に！

～ 粉体の配合設計や特性把握などに ～

粉体の特性の一つに、油分に対する濡れ（親和性）があり、粉体の種類（材質・形状・粒度・表面状態など）によって異なります。
「吸油量測定」により粉体の「吸油特性」を知ることができます。

使用性や成形性などの設計・開発、品質確認のパラメータとして
「吸油量測定」を実施しております！お気軽にお問合せください

測定フロー

試料(ガラス板上)

←あまに油 4～5滴ずつ

練り込み

塊状

←あまに油 1滴ずつ

混練

終点(ペースト状)



カーボンブラック



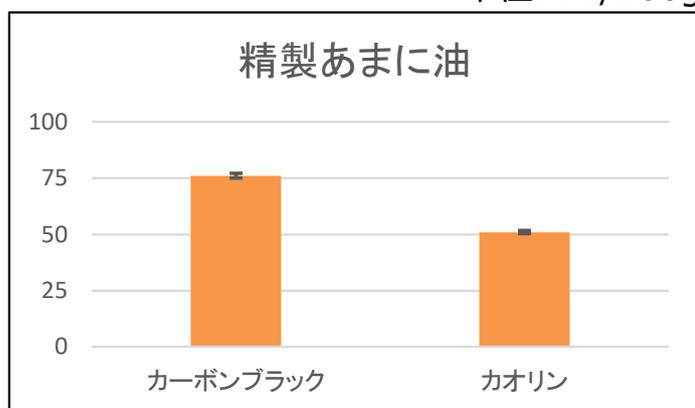
カオリン

【終点の写真】

測定（例）

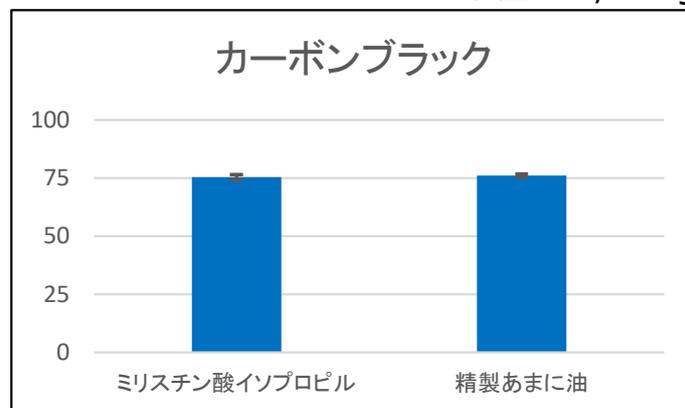
【試料の違いによる吸油量】

単位:mL/100g



【試薬の違いによる吸油量】

単位:mL/100g



※1:ISO150に規定する精製あまに油が入手出来ないため、試薬1級アマニ油を使用
※2:IPM:ミリスチン酸イソプロピル